桜谷小学校だより　平成３０年６月２５日

桜 通 信

１学期もまとめの時期に入りました
子どもたちにつけて欲しい力は？

１学期も残すところ１ヶ月足らずとなりました。学校では、子どもたちが１学期の学習のまとめに一生懸命取り組んでいます。

さて、学校では国語や算数、社会に理科・・・いろんな教科の学習をします。どの教科も、小学校や中学校の義務教育の期間に学習する内容は、大人になり社会に出た時の土台となります。その最たるものが、昔から言われる「読み・書き・そろばん（計算）」です。毎年、春に行われる全国学力・学習状況調査の児童質問紙の結果によると桜谷小学校の子どもたちは、国語や算数など学校で勉強したことは「将来社会に出たときに必要だ、役に立つ」と考えています。このように、小・中学校での基礎学力は子どもたちの将来にとって大切なものなのですが、最近、同じように子どもたちに身につけて欲しい力として「非認知能力」というものが注目されています。学力のようにテストの点数などで表される力を「認知能力」と言うのに対し、「自制心・協調性・勤勉性・自尊心・自信・積極性」などを「非認知能力」と言います。もちろん、学力も大切な力なのですが、子どもたちの長い将来を見据えた時、本当に子どもたちにとって必要な力は「非認知能力」なのかもしれません。

例えば、授業中にプリントをしました。子どもたちは、一生懸命に取り組みますが、間違ったり､分からない問題があっても当然です。子どもたちは間違いや分からないことをとても気にするのですが、教室は間違うところです。もっと言えば、間違ったところを分かるようにするところが教室です。本当に大切なのはプリントの点数ではなく、間違ったところや分からなかったところを自分でやり直したり、先生に教えてもらったりして最終的に分かるようにしておくことです。つまり、そこには「粘り強さ」や「勤勉性」「努力する力」といった「非認知能力」が関わってきます。

このような「非認知能力」と呼ばれる力は、集団生活の中でこそ培われるものです。日々の学校生活や縦割り活動、音楽会、運動会などの中で、子どもたちの「非認知能力」を育てることこそが大切であり、それが学力や子どもたちの将来を支える力になるのです。

（ 校長　深井　実 ）

音楽会、ご参観ありがとうございました!!

６月１３日は校内音楽会でした。約１２０名の保護者や地域の方々のご参観をいただき、賑やかな音楽会になりました。子どもたちは前日から「明日はお父さんやお母さんが見に来てくれはるねん!!」「僕の家も来はるで!!」と、とても楽しみにしていました。当日は、どの学年の子どもたちも少し緊張しながらも練習以上の素晴らしい発表を披露してくれました。入学して３ヶ月の１年生も元気で大きな歌声と初めて習った鍵盤ハーモニカを発表しました。そして、なんと言っても６年生が「さすが!!」と思わせるような二部合唱と合奏を聴かせてくれました。一人ひとりが自分の楽器や歌うパートに責任を持ち、しっかりと練習を重ねた成果が感じられました。９人全員が自信を持って歌い、楽器を演奏していました。前日には「早く聴いて欲しい」と音楽会で多くの人に聴いていただくことを楽しみにしていた子もあったようです。

このように、今年の音楽会も素晴らしいものになりました。４、５年生も学校代表として町内の音楽会で力を発揮してくれました。やはり多くの方々のご来校が子どもたちの頑張りに繋がっているようです。今後とも、いろいろな機会に多くの方々のご来校をお願いします。

６年生「With　You　Smile」